

平成29年度当初予算(案)に対する パブリックコメントの結果と市の考え方について

平成29年2月

江別市総務部財務室財政課

－募集結果－

【参考】意見の反映状況

意見提出者	2名
対象事業数	4事業
意見数	4件

A		新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
B	1	一部について、新たに取り組むもの、 または既に取り組んでいるもの
C	3	今後の検討課題とするもの
D		実現が難しいもの等

※ このほか、対象事業以外の事柄について意見や提案がありましたので、参考とさせていただきます。

平成29年度当初予算(案)パブリックコメントの結果について

1. パブリックコメント募集期間 : 平成28年12月2日(金)～平成29年1月4日(水)
2. 配布部数(公共施設から持ち去られた数) : 51部 (H28 57部、H27 65部、H26 36部、H25 63部、H24 59部、H23 37部、H22 75部)
3. 意見提出人数 : 2名 (H28 1名、H27 5名、H26 2名、H25 5名、H24 4名、H23 1名、H22 7名)
4. 意見があった事業数および件数 : 4事業 5件 (H28 0事業 1件、H27 5事業 6件、H26 8事業 10件、H25 16事業 19件、H24 14事業 20件)

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	番号	事業名	所管課	意見数	H28予算	H29要求	H29予算 (案)	左の財源			
									国・道	市債	その他	一般財源
1 自然・環境	2 循環型社会の形成	4652	分別・資源化等啓発事業	廃棄物対策課	1	313.8	735.4	717.2			82.4	634.8
2 産業	1 都市型農業の推進	5120	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業	農業振興課		195.5	389.5	356.6			7.2	349.4
3 福祉・保健・医療	4 高齢者福祉の充実	6636	市民後見推進事業	介護保険課		140.9	865.1	870.4	335.4			535.0
4 安全・安心	1 安全な暮らしの確保	6719	空家等対策計画策定事業	建築指導課	1		584.4	554.0				554.0
	3 消防・救急の充実	1155	応急手当普及啓発事業	救急課		50.5	54.2	48.2				48.2
6 子育て・教育	2 子どもの教育の充実	6659	小中学校外国語教育支援事業	学校教育課	1	2,911.8	2,940.0	2,806.4				2,806.4
7 生涯学習・文化	1 生涯学習の充実	6730	家庭教育事業	生涯学習課			46.2	46.2			30.0	16.2
	2 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	3953	市民文化ホール管理運営事業	生涯学習課	1	5,044.7	5,096.3	5,098.8			50.0	5,048.8
	3 市民スポーツ活動の充実	1479	地域スポーツ活動活性化促進事業	スポーツ課		32.4	32.4	32.4				32.4
8 協働	1 協働のまちづくりの推進	6647	男女の出会いの場づくり支援事業	企画課		140.0	80.0	80.0			50.0	30.0
		6548	自治会活動等支援事業	市民生活課		14.2	12.9	12.9				12.9

平成29年度当初予算(案)パブリックコメント意見一覧表

(結果欄:A=新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、B=一部について新たに取り組む、または既に取り組んでいるもの、C=今後の検討課題とするもの、D=実現が難しいもの等)

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
1	1-2	分別・資源化等啓発事業	廃棄物対策課	「分別の手引」「収集日カレンダー」紙面の充実に向け、これまでどのような検証をされてきたのでしょうか。高齢な方や地域移行がすすみつつある知的障がいの方々、色弱の方々など、字の大きさや色使い、るびをふることなどについて当事者参加で検討し、配慮してください。点字使用の「分別の手引」「収集日カレンダー」、視覚に障がいのある方への音声ガイダンスについても検討してください。	735.4万円	717.2万円	「分別の手引き」「収集日カレンダー」の紙面の充実に向けた検証につきましては、これまで、市民の皆様から寄せられたご意見を参考に、作成の都度、レイアウトや表記の仕方などの見直しを図ってまいりました。 視覚に障がいのある方につきましては、市内のボランティア団体のご協力をいただき「分別の手引き」の音声CDを希望者に作成、配付しております。 今後も引き続き、幅広いご意見を参考にしながら分かりやすい手引き等の作成に努めてまいります。	B
2	4-1	空家等対策計画策定事業	建築指導課	賛成です。江別市のまちづくり政策につなげるよう検討執行のこと 1. 江別市は、人口対策として子育て世帯の移入促進を政策としている。 この法律の終局の目的も同じですから、単に「安全、安心」に止めないこと。 2. 大麻団地再生で、空地空家と所有者の意向等も分析しています。他地域の分も含め市役所で詳細を保管しているはず。適確な委託に活用のこと。 3. 子育て環境がいい大麻団地は売物件がすぐ捌ける。所有者は売らない、これは団地全体の活力低下になる、公共の意識を十分深めることも折込むこと。 4. 売れない土地は、旗竿地等何らかの課題がある。建築指導の得意分野と周辺も含めて要改良を提案する土地として把握するといいい。 5. 大雪など江別ならではの危険項目があっいい。これらは、自治会がよく知っている、協働されるといい。 6. この法律は、公共優先の考えである。税務台帳等市が保有する情報を十分活用するといいい。公表の場合は留意事項があると思うが。 7. 総務省、国土交通省共管の法律で幅が広い、市の責務も明示されているこの事業を芽出として今後の展開につなげるように。 8. 計画はいいが、その後の実践はダメとならないように、担当課の責任は市役所全部局に周知理解を深めて各部局が政策行動に向かうようにすること。	584.4万円	554.0万円	空家等対策計画の策定への貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。 市では、現在関係部局で構成する庁内検討会議において、空家等への対策や各部局との連携策を議論しており、情報共有に努めております。 今後、有識者等で構成する空家等対策協議会との協議を踏まえ、庁内の横断的な連携のもとに計画を作成してまいります。	C

番号	政策	事業名	所管課	ご意見	要求額	予算(案)	市の考え	結果
3	6-2	小学校外国語活動支援事業	学校教育課	<p>事業目的は、説明書に記載のとおり、あくまで「児童生徒が諸外国の生活や文化等について理解を深め、英語に慣れ親しむとともに、児童生徒のコミュニケーション能力を育てることを目的とする。」ということから鑑みれば、リスニング形式の検査である英検Jrを、小学校5・6年生に導入することは、積極的に賛成できません。むしろ、実施によって英語嫌いが生まれる可能性も否定できません。母国語である日本語(国語)の言語能力をしっかりと培うことが必要です。外国語の必要性は、すべての児童生徒に求められているわけではなく、学びの過程の中で子どもたち自身が必要に応じて選択していくものと考えます。</p>	2,940.0万円	2,806.4万円	<p>市の考え</p> <p>平成23年度から実施の現学習指導要領では、小学校5・6年生で「外国語活動」が必修化され、江別市においても、市独自の取組として平成26年度から小学校3・4年生、平成27年度から1・2年生を対象に、外国語活動を実施してきたところです。</p> <p>英検Jrは、初期英語学習者に大切な「聞く力」に主眼を置いたリスニング形式の内容であり、児童の「できた」という満足感と喜びを実感させ、結果も合否ではなく正答率で表示するなど、学習意欲を持たせることを目的とした検査となっております。</p> <p>英検Jrの導入については、平成32年度に学習指導要領の改訂が予定されていることから、今回は導入を見送りましたが、その改訂内容を踏まえ、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、日本語の言語能力は、コミュニケーションや感性・情緒の基盤であることから、児童が確かな言語能力を身に付けられるよう、引き続き、言語活動の充実に努めてまいります。</p>	C
4	7-2	市民文化ホール管理運営事業	生涯学習課	<p>江別の文化芸術の発展に寄与する、えぼあホールの役割は大変重要と認識しています。20周年を迎えるにあたっての演奏家への事業演出料(50万円)については、どのような演奏会にしていくのか、広く市民の声などを聞く機会を得てすすめてください。</p> <p>また、管理運営について、大麻地区の公的な施設として市民に開かれ運営されることが求められています。ホール未使用時には、ロビーが解放されていますが、今以上に読書や学習等がしやすいような環境整備に取り組んでください。公民館との運営管理上のことがあると思われませんが、市民にとっての有効活用という視点から大人だけではなく小中高生にとってのよき居場所となっている野幌公民館ロビーの状況等を参考にしながら今後検討してください。</p>	5,096.3万円	5,098.8万円	<p>えぼあホールの開館記念事業では、質の高い文化・芸術の鑑賞機会を提供できるよう、市民や関係団体等の意見を参考に事業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>えぼあホールの管理運営については、ロビーは明るく快適な空間であることから、利用の予約が入っていない場合には開放し、皆様にお使いいただいております。今後も利用される皆様のご意見を参考にしながら、利便性の向上に取り組んでまいります。</p>	C
5		その他自由記載		<p>日頃より、市政にご尽力いただき心より感謝いたします。個別事業の意見を述べるにあたり意見募集(パブリックコメント)について、今後意見として参考にさせていただきたくコメントいたします。</p> <p>平成29年度当初予算(案)パブリックコメントに関する事業説明書についてですが、市民にとっては、書面だけではわかりにくいと思います。極めて限られた短期間の中での作業等について理解いたしますが、行政には、私たち市民の税金がどのように使われるのかを説明する責任があると考えます。資料を含めた予算(案)全体について、一度、説明会を開催することが必要です。要望いたします。</p> <p>えべつ未来づくりビジョン、これまでの市長市政執行方針においても「ともにつくる協働のまちづくり」は、大きな柱となっているはずなのですが、市民の参加は形骸化しつつあることを懸念いたします。行政にとって、とかく地域(市民)の声は、自治会や団体等と受けとめられがちですが、次世代を担う子どもたちや若者の声について積極的に耳を傾ける姿勢、機会を持っていただくことを今後強く要望いたします。</p>				